



「中学校体育連盟功労賞を受賞して」

元八代市立二見中学校教頭 押方信博

今回、荣誉ある学校体育功労賞を賜り、多くの生徒・教職員・保護者や地域の方々、諸先輩、同僚、体育関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

さて、私の教師人生は昭和55年に葦北郡津奈木町のアクアスクールで有名な赤崎小学校でスタートしました。当時の教職員、児童、保護者の皆様に快く受け入れていただき、楽しく充実した3年間を過ごすことができました。赴任と同時に、熊本県の教員団バレーボールチームと水俣市の矢城バレーボールクラブにも所属させていただき、全国教員大会や県民体育祭にも参加することができました。教師としての経験の浅い私にとって、この二つのチームで諸先輩から数多くのご指導をいただきました。「自分がバレーボールをすることや部活動は二の次である。まず、体育教師として授業を大切に下さい。一職員としての校務分掌の責務を果たして下さい。」という言葉をかけていただきました。この言葉は教師としての人生を歩む私にとって、肝に銘ずる言葉となりました。次に、八代郡の泉第二小学校で僻地校を3年間経験し、昭和61年に竜北中学校に赴任しました。ここから中学校の体育教師としての道を歩むことになりました。今振り返ると、ここでの8年間は中学校体育指導の原点とも言える時期でした。毎朝7時過ぎには出勤し、朝練習を行い、担任としての学級経営、保健体育の授業、校務分掌の実践、そして、放課後の部活動指導、土・日曜日は毎週練習試合や大会参加等、一体育人として休みなく教師生活を送っていました。その甲斐もあって、部活動では、女子バレー部で県中体連大会3連覇、準優勝・3位一回等、生徒や保護者の皆さんと数々の感激を味わうことができました。ただ無理には勝てず、竜北中7年目に体調を壊し、2か月間入院しました。

平成6年に千丁中学校に異動となり、郡中体研の理事長を受けさせていただきました。平成8年に県学体研及び九州学体研で研究発表の機会を与えていただき、諸先輩のご指導のおかげで、自分なりに満足いく発表を行うことができました。

さらに、平成9年に八代市立第三中学校に異動となり、平成12年に文部科学省指定「『豊かな人間性』と『自ら学び・考え・実践する生徒』の育成～武道の精神を生かした学校生活と生きる力を育む課題解決型の学習を通して～」を研究発表することができました。同僚の先生方や保護者の皆様の協力をいただき、生徒の学力向上や体力向上、技能向上、文部科学省や教育委員会、大学の先生方から高い評価をいただくことができました。

昨年、一年早く退職させていただきましたが、生徒、教職員、保護者の皆様に恵まれ、充実した教師生活37年間を送らせていただきました。

最後になりましたが、県中体研、県中体連のますますの発展と会員の先生方のご健勝とご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただいた多くの先生方に心より感謝申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。